

無石綿

# NSカチオンワンQ

## カチオン系一材型速硬下地調整塗材

NS カチオンワン Q は、特殊セメント系粉体とカチオン系アクリル共重合体再乳化形粉末樹脂を予め適量混合した一材型製品で、速硬性を有し各種下地に対し早期に安定した接着力を発揮します。吹付け・各種仕上塗材・防水工事の下地調整塗材として適用し、仮防水機能を発揮します(裏面の留意点参照)。また、改修・補修工事における下地処理材として広範囲な下地に適応できる一材型ポリマーセメントモルタル(樹脂混入モルタル)です。

### 特長

- 各種下地に対し、安定した接着強さを発揮し、接着耐久性にも優れています。
- 1 ~ 10 mmまでの幅広い塗厚に対応できます。
- 一材型製品のため、缶・ボトル等の廃材がなく、環境負荷の少ない製品です。
- 速硬タイプで、短時間の養生で次工程の施工が可能のため、大幅な工期短縮が図れます。

### 標準仕様

荷姿	適用部位	適用下地*	適用仕上げ	標準調合	標準塗厚	標準施工面積
20kg/箱 (10kg × 2袋)	内・外壁 内・外床 天井	コンクリート、 モルタル、 ブロック、PC板、 ALCパネル、 タイル等	防水材、クロス、 仕上塗材、 陶磁器質タイル、 タイルカーペット、 Pタイル、塗床等	清水 約 2.0 ℓ / 袋	1 ~ 10mm	約 1.4 m <sup>2</sup> /10kg 袋 (5mm 厚)

注)※：適応下地の詳細については「適応下地一覧表」および「各種下地に対する接着強さ」を参照してください。

上記標準仕様以外での施工による不具合につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。  
※各生産工場により、標準調合(加水量)が若干変わることがありますので、製品包装の記載値で調合してください。

練り混ぜ時間が短い場合、強度低下の要因になりますので、練り混ぜ時間は3分を確保してください。

### ■適応下地一覧表

A. よく接着する下地* <sup>1</sup>	コンクリート、モルタル、ブロック、PC板、ALCパネル、磁器質タイル、せつ器質タイル、陶器質タイル、ガラスモザイクタイル、大理石、御影石、人造石研ぎ出し、アクリル系吹付タイル
B. 接着する下地* <sup>1</sup>	ウレタン防水用プライマー、加硫ゴムシート防水用プライマー、加硫ゴムシート防水用接着剤、塩化ビニルシート防水用接着剤、エポキシ塗床、鉄板、アクリル系吹付タイルトップコート
C. 接着するが不安定な下地* <sup>2</sup>	アスファルト防水用プライマー、ウレタン防水トップコート、アクリルリシン、スタッコ、現場発泡ウレタン、セメントリシン
D. 推奨は出来ない下地	アルミニウム、ステンレス、ウレタン塗床、塩化ビニルシート、加硫ゴムシート、FRP防水等

注)※1：よく接着していても下地の母材強度が弱い場合、下地を引き起こすことも考えられますので、下地が健全であることを確認してください。

注)※2：試験塗りを行い、接着性を確認してください。

### 性能

試験項目		試験結果	JIS A 6916 CM-2 の品質基準
凝結時間 (時間 - 分)	始発	0-30	— (試験方法: JASS15 M102)
	終結	0-45	
耐ひび割れ性		ひび割れの発生なし	ひび割れない
耐衝撃性		ひび割れ及び剥がれなし	ひび割れ及び剥がれない
曲げ強さ (N/mm <sup>2</sup> )		9.9	5.0 以上
圧縮強さ (N/mm <sup>2</sup> )	材齢 1日	7.3	—
	材齢 7日	24.5	—
	材齢 28日	32.4	10.0 以上
付着強さ (N/mm <sup>2</sup> )	標準養生	2.0	1.0 以上
	低温養生	1.7	0.7 以上
吸水量 (g)		0.8	2.0 以下
透水量 (ml/hr)		0.02	0.5 以下
長さ変化 (%)		-0.07	0 ~ -0.15
仕上材が複層仕上塗材の場合の耐久性	外観	割れ・膨れ及び剥がれなし	割れ・膨れ及び剥がれない
	付着強さ (N/mm <sup>2</sup> )	1.3	1.0 以上
仕上材がセラミックタイルの場合の耐久性 (N/mm <sup>2</sup> )		1.9	0.6 以上

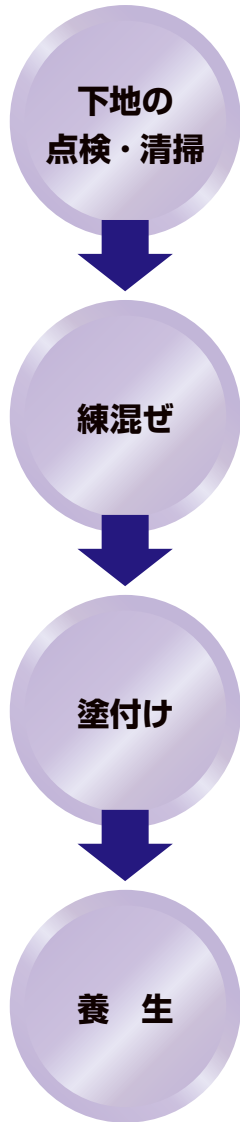
※上記試験結果は、JIS等の規格に定められた条件下で得られた測定値です。

### ■各種下地に対する接着強さ

適用区分	下地の種類	接着強さ (N/mm <sup>2</sup> )	
		標準養生	温冷繰返し後
A	コンクリート	2.3	2.5
	磁器質タイル	2.3	2.6
B	鉄板	1.0	1.2
	エポキシ塗床	2.0	2.1
	ウレタン防水プライマー	1.7	1.2
C	ウレタン防水トップコート	1.0	0.7
	アスファルト防水プライマー	1.7	1.9

日本化成(株)中央研究所

# 施工法



下地(旧仕上材を含む)のぜい弱層・レイタンス・油分・汚れ等をワイヤブラシ・サンダー掛け等で除去し、水洗い清掃または高圧水洗浄をおこなってください。

- \*浮き・はく落の原因となりますので、下地の清掃は入念におこなってください。
- \*旧仕上材がタイルの場合は、打診により浮き等がないことを確認してください。浮き等がある場合は、取り除くか、ピンニング等の適切な処置をおこなってください。
- \*旧仕上材の下地調整材(モルタル等)の浮きがないことを確認してください。浮き等がある場合は、取り除くか、ピンニング等の適切な処置をおこなってください。
- \*吸水の激しい下地へ施工する場合は、NS ハイフレックス HF-1000 の5倍希釈液を刷毛等でむらなく塗布してください。
- \*ブロック等下地の動きが想定される場合は適切なひび割れ抑制措置が必要です。

所定量の水を容器に入れ、粉体を徐々に加えながらハンドミキサー等でダマにならないように十分に練り混ぜてください。

- \*強度低下の原因となりますので、標準調合を厳守してください。加水後の材料は夏季20分以内、冬季40分以内を目安に使い切り、練足し、水を加えての練直しは避けてください。
- \*速硬性の材料ですので、時間内に使い切る量を練り混ぜてください。

こて圧をかけて下地に擦り込むように塗付け後、所定の厚さになるよう塗り付けてください。仕上材の種類によって、金ごて押え、木ごて押え等をおこなってください。

- \*浮きや割れの原因となりますので、「ガリッ」と擦ってから所定厚に塗り付けてください。
- \*1回の塗り厚は、標準仕様の塗厚を厳守してください。
- \*各部位の1回の許容塗付け厚さを超える場合には、2回以上に分けて塗り付けてください。その際の工程間隔は、夏季3時間以上、冬季6時間以上を目安としてください。ただし、壁の全面塗りの場合は、1回の塗厚を8mm以下としてください。床の全面塗り場合は、1回の塗厚を10mm以下としてください。
- \*天井面への施工は、ひび割れやはく落の原因となりますので、総塗厚は6mm以下とし、1回の塗厚を3mm以下としてください。
- \*塗継ぐ場合は、下塗りおよび中塗り面の金ごて押さえは避けてください。
- \*壁面での総塗厚が25mmを超える場合は、ステンレスアンカーピンとステンレス線等を併用してください。

通風や直射日光を避け、必要に応じて屋内では開口部の閉鎖、屋外ではシート掛け等の養生をおこなってください。また、施工後、降雨・降雪のおそれがある場合も、シート掛け等の養生をおこなってください。

- \*強度が出ないおそれがあるため、通風や直射日光により塗付け面の乾燥が激しい場合には、塗付け翌日以降に散水養生をおこなってください。
- \*初期の雨掛り等は、強度不足・白華の原因となりますので、シート掛け等の養生をおこなってください。白華した場合には水洗い等により除去してから、次工程の作業をおこなってください。

## 次工程までの養生間隔

仕上の種類	下地調整塗材等素地ごしらえ	建築用仕上塗材※水系に限る	張り物仕上材	塗床・防塵塗料ウレタン防水
養生時間	6時間以上	6時間以上	12時間以上	3日以上

## 仮防水機能に関する留意点

- 屋上防水改修工事における当製品は密実なポリマーセメントモルタル層として優れた耐吸水、耐透水性を発揮します。但し、下地に対して十分にこて圧をかけて擦り込む様に厚さ3mm以上に施工していることが前提です。
- 既存防水層撤去後のスラブコンクリート下地で、ひび割れがほとんどない場合は下地調整施工後、新規防水材料施工までの間、降雨による水圧にも耐え、漏水させない機能(仮防水機能)を発揮しますが、漏水をともなう恐れのあるひび割れがある場合は予め、漏水防止目的でクラック部のシーリング処理などをおこなってください。

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	1604005
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	<a href="http://www.nsk-web.org/">http://www.nsk-web.org/</a>



## 使用上の注意

- 気温が3℃以下になる場合には、施工を避けてください。
- 本品は既調合品です。指定材料以外の他の材料の混入は避けてください。
- 練混ぜに使用する水は、水道水等の清水を使用してください。
- 使用後の器具は速やかに水で洗浄してください。
- 製品は製造年月日を確認し、3ヶ月以内を目安に使用してください。

本カタログに記載された内容(データ・仕様・施工法等)は、作成時点で入手できた情報・データに基づいており、実際の現場での結果を確実に保証するものではありません。また、本カタログの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。ご使用に際しては、適切な使用方法と安全対策に注意し、お取り扱いください。

**日本化成株式会社**

製品問合わせダイヤル ☎ **0120-974237**

製品の概要・施工に関してはこちらのダイヤルまでお問合せください。

ホームページ <http://www.nihonkasei.co.jp/> 日本化成の最新情報もご覧ください。